

目的

子供たちの学習・生活の場であるとともに、地域コミュニティの拠点であり、災害時には避難所としての役割を果たす学校施設の老朽化がピークを迎える中、子供たちの多様なニーズに応じた教育環境の向上と老朽化対策の一体的整備を推進する。

事業内容

- 学校施設の老朽化対策、他の公共施設等との複合化・共用化、非構造部材の耐震対策、避難所としての防災機能強化、空調設置、洋式化を含めたトイレ改修 等
- 学校施設の脱炭素化（高断熱化、LED照明、高効率空調、太陽光発電等）、木材利用の促進（木造、内装木質化） 等

長寿命化改修による教育環境向上と老朽化対策の一体的整備



災害時にも利用可能な
学校体育館の空調設備



洋式化、乾式化された
安全で清潔なトイレ



地域コミュニティの拠点として、学校施設と他の公共施設等との複合化・共用化を推進



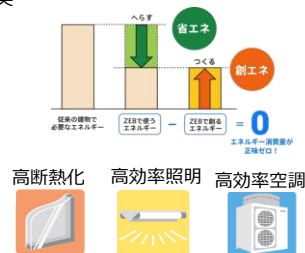
校舎の柱や内装に木材を活用し、
温かみのある学習・生活環境や脱炭素化を実現



バリアフリートイレ等バリアフリー化により避難所としての防災機能を強化



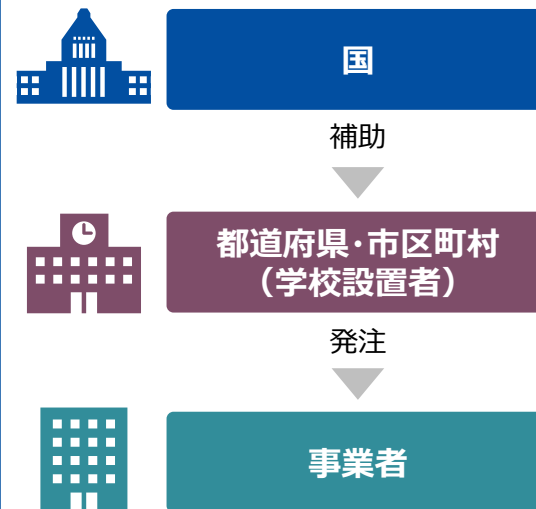
学校施設のZEB化



事業スキーム

公立学校の施設整備に要する経費の一部を事業等に応じた補助率により補助

《補助率：原則1/3、1/2》



事業効果

- 計画的・効率的な長寿命化を図る老朽化対策や耐震対策、防災機能強化等により、子供たちの安心・安全な教育環境を確保。